

川崎市グリーンボンド（令和7年度発行）インパクトレポート・ブック

令和８年11月

Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

目次

1 川崎市のSDGsの取組

2 令和７年度グリーンボンドの発行概要

3 フレームワークに基づくレポーティング

1 川崎市のSDGsの取組

KAWASAKI SDGs

川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

（1）川崎市のSDGsの取組

川崎市の環境への取組

■ 政令市最大のCO2排出地域であると同時に、大規模エネルギー供給拠点としての特性や、産業・研究開発拠点としての特性も踏まえ、他都市や国に先駆けた取組を推進

~2020年までの取組

1960~1970年代	京浜工業地帯の中核として産業の発展を牽引
1994年2月	【川崎市環境基本計画】を策定 (令和3年2月改訂)
1998年	【川崎市の地球温暖化防止への挑戦 ~地球環境保全のための行動計画】を策定
2004年	【川崎市地球温暖化対策地域推進計画 ~川崎市の地球温暖化防止への挑戦】を策定
2004年	全国で初となる環境配慮型ミニ公募債 【川崎市緑化推進債】を発行
2008年	【カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略(CCかわさき)】を策定
2010年	【川崎市地球温暖化対策推進基本計画】を策定 (平成30年3月改訂)
2019年7月	【SDGs未来都市】に選定
2020年7月	国に先駆けて【カーボンニュートラル宣言】を実施
2020年11月	【かわさきカーボンゼロチャレンジ2050】を策定 ⇒2050年のカーボンニュートラル実現に向けた方向性を整理

~2021年以降の取組

2021年8月	政令市初となるグリーンボンドを発行
2022年3月	【川崎市地球温暖化対策推進基本計画】を改訂 ⇒国の削減目標よりも高い削減目標を設定
2022年8月	第2回グリーンボンドを発行
2023年3月	川崎市地球温暖化対策条例を改正 ⇒2050年の脱炭素社会を目指す事を基本理念とする条例に
2023年11月	フレームワークを改訂。第3回グリーンボンドの発行 ※ブループロジェクトを盛り込んだ「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy」の第一号案件
2023年11月	本市として初となる個人向けグリーンボンドを発行
2023年11月	グリーン共同債に参加
2024年11月	市制100周年を迎える中で、フレームワークを改訂 第4回グリーンボンド、第2回個人向けグリーンボンドを発行
2025年11月	第5回グリーンボンド、第3回個人向けグリーンボンドを発行 グリーンボンド発行の取組は5年目に

2050年までのカーボンニュートラル社会の実現に向けてSDGsの取組を推進中

2 令和７年度グリーンボンドの発行概要

（１）令和７年度グリーンボンドの発行概要

（２）川崎市グリーンボンドとSDGsの関わり

（1）令和7年度グリーンボンドの発行概要

川崎市グリーンボンド(令和7年度発行)の概要

	機関投資家向け	個人向け
債券名称	第5回川崎市グリーンボンド5年公募公債	第3回川崎市グリーンボンド5年公募公債(個人向け) 愛称：かわさきグリーンボンド(個人向け)
年限	5年（満期一括償還）	5年（満期一括償還）
発行額	50億円	20億円
利率	1.314%	
条件決定日	令和7年11月13日	
発行日	令和7年11月25日	令和7年12月11日
主幹事/ 取扱金融機関	みずほ証券株式会社 大和証券株式会社	株式会社横浜銀行、川崎信用金庫、株式会社みずほ銀行、 大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、 株式会社SBI証券、浜銀TT証券株式会社、野村證券株式会社、 丸三証券株式会社、岡三証券株式会社、楽天証券株式会社
適合性評価	第三者機関である株式会社日本格付研究所より、「グリーンボンド原則2021（ICMA）」、「グリーンボンドガイドライン（2022年版）（環境省）」、「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（ICMA/IFC/UNEP FI/UN Global Compact/ADB）」、「Blue Finance Guidelines（国際金融公社（IFC））」との適合性について最上位のGreen1(F)の評価を取得	

（1）令和7年度グリーンボンドの発行概要

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

第5回川崎市グリーンボンド5年公募公債の投資表明先一覧(五十音順)

公益財団法人厚木市環境みどり公社	あぶくま信用金庫	アボロンシステム株式会社	江戸川区	かながわ信用金庫	可児市水道事業	川崎市住宅供給公社
一般財団法人川崎市まちづくり公社	川崎信用金庫	川尻鉄工株式会社	カワフルテクノ株式会社	独立行政法人環境再生保全機構	株式会社きらぼし銀行	システムズ・デザイン株式会社
水郷つくば農業協同組合	ソニー損害保険株式会社	TMCシステム株式会社	帝国通信工業株式会社	株式会社Dotec	公益財団法人東京応化科学技術振興財団	東日電設株式会社
株式会社徳島大正銀行	日本コープ共済生活協同組合連合会	日本地震再保険株式会社	株式会社ハタノシステム	株式会社ハヤカワ	株式会社星野和建設	宮崎第一信用金庫
株式会社ムサシボウル	又新運輸株式会社	株式会社横浜銀行				

（2）川崎市グリーンボンドとSDGsの関り

■ 本市のフレームワークに基づきグリーン/ブルーボンドを発行することは、市内のSDGs債への投資・発行を促す一助となることに加え、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の「6：安全な水とトイレを世界中に」「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「11：住み続けられるまちづくりを」「12：つくる責任 つかう責任」「13：気候変動に具体的な対策を」「14:海の豊かさを守ろう」についても、その達成に貢献するものと考えます。

SDGs目標		本市との関り
	6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。	• 高効率な廃棄物処理施設の整備 • 下水道施設の整備
	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。	• 高効率な廃棄物処理施設の整備 • 環境性能の高い公共施設の新築、改修ならびに取得 • 公共施設の省エネ化 • 公共施設への太陽光発電設備の導入 • 公用車の電動車化（EV、PHV、HV、FCV） • 自転車通行環境の整備
	11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 11.6 2030年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。	• 高効率な廃棄物処理施設の整備 • 水害対策のための河川整備 • 海岸保全施設の整備 • 防災情報収集・伝達体制の整備 • 清掃船（電気推進船）の建造 • 下水道施設の整備 • 公園緑地の整備
	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。	• 高効率な廃棄物処理施設の整備 • 清掃船（電気推進船）の建造
	13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。	• 水害対策のための河川整備 • 海岸保全施設の整備 • 防災情報収集・伝達体制の整備 • 下水道施設の整備
	14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。	• 清掃船（電気推進船）の建造

※上記は令和7年度に起債した時点のフレームワークに掲載している内容であり、個別に充当した事業は、次ページ以降に掲載しています

3 フレームワークに基づくレポーティング

（１）充当状況・環境改善効果に係るレポーティング

（２）令和７年度グリーンボンドの資金使途について

（1）充当状況・環境改善効果に係るレポーティング

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

資金使途・環境改善効果等の一覧

グリーンボンド原則 事業区分	グリーン適格プロジェクト	充当金額(百万円)		環境改善効果
		機関投資家向け	個人向け	
エネルギー効率	公共施設の省エネ化 ※従来比30%以上の消費量又は排出量削減効果のあるもの (例：照明のLED化等)	66	33	• 照明のLED化：約4,200灯(3施設)、灯柱135基 • CO2排出削減量：170.2t-CO2/年
	環境性能の高い公共施設の新築、改修ならびに取得 (例：公営住宅の整備、学校整備等)	88	22	<公営住宅の整備> • 高石住宅(40戸)、生田住宅(70戸)の整備 • BEI=0.80
		543	224	<学校整備>　※設計時の数値 • 登戸小学校増築校舎の整備：BEI=0.6 • 鷺沼小学校増築校舎の整備：BEI=0.43 • 中央支援学校増築校舎の整備：BEI=0.44
再生可能エネルギー エネルギー効率	カーボンニュートラルポート(CNP)の形成(例：照明のLED化等)	46	17	• 照明のLED化：320灯(7施設) • CO2排出削減量：111.2t-CO2/年
クリーン輸送	公用車の電動車化 (EV、PHV、HV、FCV) (例：電動車、充電設備の導入)	8	4	• EVごみ収集車の導入：1台 • CO2排出削減量：13t-CO2/年
気候変動への適応	水害対策のための河川整備 (例：護岸整備、河道拡幅、堤防整備等)	679	262	• 平瀬川支川改修事業：右岸約40mの護岸改修工事を完了 • 市内一級河川の時間雨量50mmの降雨に対する河川改修率：84%
	防災情報収集・伝達体制の整備 (例：防災行政無線の整備等)	182	91	• 衛星系防災行政無線改修：9箇所
グリーンボンド原則 事業区分	ブルー適格プロジェクト	充当金額(百万円)		環境改善効果
		機関投資家向け	個人向け	
汚染防止及び抑制	カーボンニュートラルポート(CNP)の形成 (例：清掃船(電気推進船)の建造)	188	47	• 電気推進船の新造：2隻 • ごみの回収量:224㎥（R4～R7平均） • ※同型船を建造しているため、完成後のごみ回収量は変わらない見込み
汚染防止及び抑制 気候変動への適応	下水道施設の整備	3,200	1,300	• 市内全域の重要な管きょの耐震化率：89.1%→89.7% • 浸水対策実施率:35.3%→41.0% • 管きょ再整備率：39.0%→40.3% • 高度処理普及率：79.0%→100.0% • 下水道処理人口普及率：99.6%→99.8% • 合流式下水道改善率：73.5%→73.5%
		5,000	2,000	

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について①

公共施設の省エネ化/カーボンニュートラルポート(CNP)の形成※照明のLED化

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
エネルギー効率 ※公共施設の省エネ化	• エネルギー消費削減によるCO2排出量削減	
再生可能エネルギー/エネルギー効率 ※カーボンニュートラルポート(CNP)の形成	• エネルギー消費削減によるCO2排出量削減とCNP形成に向けた取組の推進	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 市施設について、高効率照明機器(LED)の整備を行うものです
- 令和7年度は10施設、約4,520灯の導入と灯柱135基の更新を行いました



宮前小学校



川中島小学校



LED化した灯柱

充当金額

グリーン適格プロジェクト	機関投資家向け	個人向け
公共施設の省エネ化	66百万円	33百万円
カーボンニュートラルポート(CNP)の形成	46百万円	17百万円
	162百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備箇所数	• 省エネ化：約4,200灯(3施設) 灯柱135基 • CNPの形成：320灯(7施設)
CO2削減量	• 281.4t-CO2/年

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について②

環境性能の高い公共施設の新築、改修ならびに取得※公営住宅の整備

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
エネルギー効率	• エネルギー消費削減によるCO2排出量削減	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 高石住宅(5号棟)と生田住宅(2号棟)を新設するものです



現状(高石住宅)



完成イメージ(高石住宅)

充当金額

機関投資家向け	個人向け
88百万円	22百万円
110百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備箇所数	• 高石住宅：40戸 • 生田住宅：70戸
一次エネルギー消費量	• BEI＝0.80

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について③

環境性能の高い公共施設の新築、改修ならびに取得※学校整備

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
エネルギー効率	• エネルギー消費削減によるCO2排出量削減	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 登戸小学校増築校舎は令和9年4月からの部分的な使用開始、令和11年４月からの全面的な使用開始に向け整備を進めました
- 鷺沼小学校増築校舎は、令和9年9月からの使用開始に向け整備を進めました
- 中央支援学校増築校舎は令和8年11月からの使用開始に向け整備を進めました

イメージ図(中央支援学校高等部)

体育館棟





増築校舎棟

充当金額

機関投資家向け	個人向け
543百万円	224百万円
767百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備箇所数 一次エネルギー消費量	• 登戸小学校増築校舎：BEI=0.6 • 鷺沼小学校増築校舎：BEI=0.43 • 中央支援学校増築校舎：BEI=0.44 ※設計時の数値

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について④

公用車の電動車化

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
クリーン輸送	• エネルギー消費削減によるCO2排出量削減	

事業概要・令和7年度の実施内容

- EVごみ収集車を導入する事業です
- 令和7年度に1台を導入しました



EVごみ収集車

充当金額

機関投資家向け	個人向け
8百万円	4百万円
12百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備実績	• 1台
CO2削減量	• 13t-CO2/年

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について⑤

水害対策のための河川整備

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
気候変動への適応	• 水災害発生時の浸水被害の緩和 • 水災害発生時の安全・信頼できるインフラの維持	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 時間雨量50mmの降雨に対する河川改修率向上のための各河川での護岸整備や、河積阻害防止のための維持管理、安心して川を利用できるよう通路の天端補強などの河川維持補修を行いました



平瀬川支川(護岸改修後)

充当金額

機関投資家向け	個人向け
679百万円	262百万円
941百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備実績	• 平瀬川支川改修事業： 右岸約40mの護岸改修工事を完了
市内一級河川の時間雨量50mmの降雨に対する河川改修率	• 83% → 84%

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について⑥

防災情報収集・伝達体制の整備

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
気候変動への適応	• 水災害発生時の浸水被害の緩和 • 水災害発生時の安全・信頼できるインフラの維持	 

事業概要・令和7年度の実施内容

- 衛星系防災無線の第3世代化への改修を行いました



充当金額

機関投資家向け	個人向け
182百万円	91百万円
273百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備実績・内容	• 衛星系防災行政無線改修：9箇所

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について⑦

カーボンニュートラルポート(CNP)の形成※清掃船(電気推進船)の建造

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
汚染防止及び抑制	• 港湾・沿岸地域における廃棄物削減とCNP 形成に向けた取組の推進	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 船舶の安全な航行や着岸の支障となるごみの回収を行う清掃船の更新を行うものです
- 令和7年度は、電気推進船2隻のうち、令和6年度の1隻に引き続き、2隻目が完成しました



完成した清掃船

充当金額

機関投資家向け	個人向け
188百万円	47百万円
235百万円	

環境改善効果

項目	効果
整備内容	• 電気推進船の新造：2隻
ごみの回収量	• 224㎥（R4～R7平均） ※同型船を建造しているため、完成後のごみ回収量は変わらない見込み

（2）令和7年度グリーンボンドの資金使途について⑧

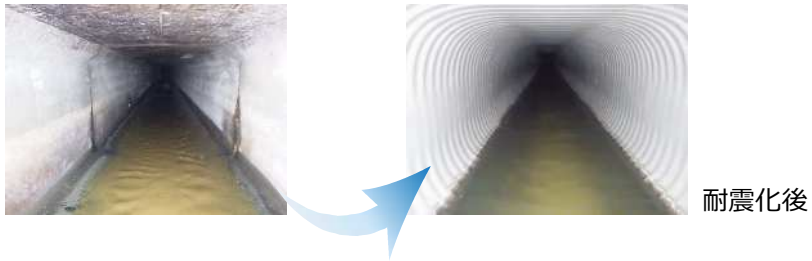
下水道施設の整備

グリーンボンド原則事業区分	環境面での便益	関連するSDGs
汚染防止及び抑制 気候変動への適応	• 適切な汚水処理による水質維持 • 水災害発生時の浸水被害の緩和	

事業概要・令和7年度の実施内容

- 下水道による良好な循環機能の形成に取り組むものです
- 重要な管きょの耐震化は、川崎駅以北の約4.7kmを実施しました
- 浸水対策は、三沢川地区、土橋地区において雨水管きょの整備を推進しました
- 管きょ再整備は、管きょ再整備重点地域において約6.6kmの老朽化対策を実施しました
- 高度処理普及は、等々力水処理センターにおける高度処理化の流量調整池の工事が完了しました
- 下水道処理人口普及は、平地区で下水管きょの整備を推進しました
- 合流式下水道改善は、六郷遮集幹線の整備を推進しました

下水道の整備(管きょの耐震化)



充当金額

機関投資家向け	個人向け
3,200百万円	1,300百万円
4,500百万円	

環境改善効果

項目	効果
市内全域の重要な管きょの耐震化率	• 89.1%→89.7%
浸水対策実施率	• 35.3%→41.0%
管きょ再整備率	• 39.0%→40.3%
高度処理普及率	• 79.0%→100.0%
下水道処理人口普及率	• 99.6%→99.8%
合流式下水道改善率	• 73.5%→73.5%

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

川崎市
財政局財政部資金課

住所	〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町一番地		
TEL	044-200-2182	FAX	044-200-3904
HP	https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html		
Mail	23sikin@city.kawasaki.jp		